

平成30年度決算説明書 / 事業評価シート

| 予算 |   |   | 目名      | 決算書(P) |
|----|---|---|---------|--------|
| 款  | 項 | 目 |         |        |
| 9  | 5 | 1 | 社会教育総務費 | 348    |

| 部局名 | 教育部     |
|-----|---------|
| 課名  | 文化スポーツ課 |

I：事業概要

|          |  |
|----------|--|
| 施策事業名    | 社会教育一般   |
| 事業目的     | 社会教育活動の推進に資する事業及び社会教育団体の育成のための補助事業を行う。   |
| 事業内容     | <ul style="list-style-type: none"> <li>●全体計画                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が主体となり社会教育活動を積極的に展開してもらうため、社会教育団体の育成のための補助事業や社会教育事業推進のための支援を行う。</li> </ul> </li> <li>●主な事業内容                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育指導員の設置</li> <li>・社会教育委員の委嘱(社会教育法第15条、犬山市社会教育委員設置条例第1条)</li> <li>・中学校への吹奏楽部活動指導員派遣事業の実施</li> <li>・市民展の開催</li> <li>・社会教育団体及び文化事業への補助</li> <li>・文化芸術活動全国大会等出場者への賞賜金の支給</li> <li>・するすみふれあい広場の管理運営</li> </ul> </li> <li>●主な事業費内訳                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育指導員報酬 1,956千円</li> <li>・社会教育委員報酬 244千円</li> <li>・中学校吹奏楽部活動指導者謝礼 1,820千円</li> <li>・市民展開催委託料 1,350千円</li> <li>・社会教育団体補助(8団体) 1,665千円</li> <li>・文化の薫り高いまちづくり事業補助金 150千円</li> <li>・文化芸術活動全国大会等出場者賞賜金 70千円</li> <li>・するすみふれあい広場管理委託料 926千円</li> </ul> </li> </ul> |
| 事業の成果・効果 | 犬山市立中学校吹奏楽部活動指導員設置制度の在り方を見直し、プロとして活躍しているプロ指導員に加え今年度から楽器演奏が堪能な学生・OBらの一般指導員を市内4中学校に派遣することで、さらなる演奏技術の向上及び安定した指導者の確保が可能となった。また犬山市文化芸術活動全国大会等出場者激励費支給制度を開始し、文化芸術分野における全国大会等出場者7名に対し賞賜金の支給を行い、市民の文化芸術水準の向上を図った。  |

II：個別事業内訳

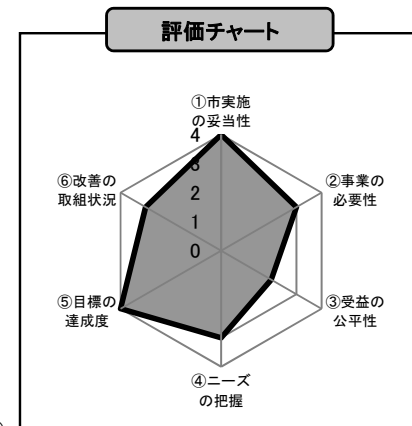
(単位：千円)

(総点検進捗評価は4段階)

| 事業名          | 決算額   | 財源内訳  |       | 一般財源の割合 | 総点検進捗評価 |       |      |
|--------------|-------|-------|-------|---------|---------|-------|------|
|              |       | 特定財源  | 一般財源  |         | 情報発信    | 利便性向上 | 他市比較 |
| 社会教育総務事務     | 2,044 | 0     | 2,044 | 100%    | 4       | 4     | 4    |
| 社会教育委員       | 282   | 0     | 282   | 100%    | 4       | 4     | 2    |
| 文化振興         | 3,660 | 3,570 | 90    | 2%      | 4       | 3     | 4    |
| 社会教育団体補助     | 1,665 | 0     | 1,665 | 100%    | 2       | 2     | 2    |
| するすみふれあい広場管理 | 1,506 | 321   | 1,185 | 79%     | 3       | 3     | 3    |
| -            | -     | -     | -     | -       | -       | -     | -    |
| -            | -     | -     | -     | -       | -       | -     | -    |
| 合計           | 9,157 | 3,891 | 5,266 | 58%     | 3       | 3     | 3    |

III：年度別事業費の状況 (単位：千円)

| 事業費     | H29決算 | H30決算 | R1予算   |
|---------|-------|-------|--------|
|         | 9,151 | 9,157 | 10,118 |
| 財源内訳    |       |       |        |
| 国庫支出金   | 0     | 0     | 0      |
| 地方債     | 0     | 0     | 0      |
| その他     | 319   | 3,891 | 310    |
| 一般財源    | 8,832 | 5,266 | 9,808  |
| 一般財源の割合 | 97%   | 58%   | 97%    |



IV：事業の評価 (4段階評価、PDCAサイクルのCheck)

| 評価の観点    | 評価 | 評価根拠  |
|----------|----|---|
| ①市実施の妥当性 | 4  | 社会教育委員については、社会教育法第15条、犬山市社会教育委員設置条例第1条において設置することとしている。  |
| ②事業の必要性  | 3  | 中学校部活動(吹奏楽部)への指導者派遣事業については、教員の多忙化や指導者不足の解消のため今後さらに必要性が高まっていく事業である。社会教育団体への補助については、ガイドラインに沿った交付を行い、非常時においては縮小もやむを得ない事業である。 |
| ③受益の公平性  | 2  | 社会教育団体への補助等少数の市民を対象とする事業である。  |
| ④ニーズの把握  | 3  | 中学校部活動(吹奏楽部)への指導者派遣事業については、新制度制定に向け、吹奏楽顧問への聞き取りを実施し、意見を反映した。  |
| ⑤目標の達成度  | 4  | 当初計画した事業は全て実施した。  |
| ⑥改善の取組状況 | 3  | 各事業が適正に実施されるよう、今後も検証を続けていく。   |

V：業務の総点検 (PDCAサイクルのC-A)

|                    |  |
|--------------------|--|
| 平成30年度に見直しを実施した事項  | 犬山市立中学校吹奏楽部活動指導員設置制度の運用を開始し、プロ指導員と一般指導員の設置を行った。これまで12月に単独で開催されていた児童作品展を、市民展と同時開催することで、より多くの方々に文化芸術に触れる機会を創出した。 |
| 令和元年度に見直しを実施している事項 | 生涯学習サイト「まなびナビ」の活用や地域資源バンク事業との連携により、市民が実施する生涯学習事業の周知や支援に努めていく。  |
| 今後見直しを検討する事項       | 市民が主体となって実施する生涯学習事業の支援の在り方について検討していく。  |

VI：課題とその対応策及び今後の方向性 (平成30年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

| 課題   | 対応策・今後の方向性   |
|--|--|
| 文化芸術活動(イベント)の実施における支援メニューはあるが、文化的な刊行物の発行や看板等の設置に対する支援メニューはないため、今後補助メニューの在り方を検討する必要がある。 | 市民や地域が主体となる生涯学習事業について、側面支援や情報提供ができるよう支援の在り方について検討していく。 |

平成30年度決算説明書 / 事業評価シート

| 予算 |   |   | 目名      | 決算書(P) |
|----|---|---|---------|--------|
| 款  | 項 | 目 |         |        |
| 9  | 5 | 1 | 社会教育総務費 | 350    |

| 部局名 | 教育部     |
|-----|---------|
| 課名  | 文化スポーツ課 |

I：事業概要

|                  |  |               |         |  |              |         |  |             |         |               |             |       |               |                  |       |  |
|------------------|--|---------------|---------|--|--------------|---------|--|-------------|---------|---------------|-------------|-------|---------------|------------------|-------|--|
| 施策事業名            | 生涯学習   |               |         |  |              |         |  |             |         |               |             |       |               |                  |       |  |
| 事業目的             | 市民が幅広い教養や知識を身につけることを目的に、生涯学習機会の提供、生涯学習活動の支援を行う。  |               |         |  |              |         |  |             |         |               |             |       |               |                  |       |  |
| 事業内容             | <ul style="list-style-type: none"> <li>●全体計画                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民ニーズに合った魅力ある生涯学習事業を展開するとともに、生涯学習情報の提供を行う。</li> </ul> </li> <li>●主な事業内容                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民総合大学の開催</li> <li>・子ども大学の開催</li> <li>・ロボット塾の開催</li> <li>・生涯学習出前講座の実施</li> <li>・市民講師登録制度の活用</li> <li>・生涯学習情報サイトの運営</li> </ul> </li> <li>●主な事業費内訳                     <table border="0"> <tr> <td>・市民総合大学講師謝礼</td> <td>1,506千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・市民総合大学開催委託料</td> <td>1,930千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・子ども大学開催委託料</td> <td>6,644千円</td> <td>(対象事業費の2/3補助)</td> </tr> <tr> <td>・ロボット塾開催委託料</td> <td>239千円</td> <td>(対象事業費の2/3補助)</td> </tr> <tr> <td>・犬山市生涯学習情報サイト委託料</td> <td>237千円</td> <td></td> </tr> </table> </li> </ul> | ・市民総合大学講師謝礼   | 1,506千円 |  | ・市民総合大学開催委託料 | 1,930千円 |  | ・子ども大学開催委託料 | 6,644千円 | (対象事業費の2/3補助) | ・ロボット塾開催委託料 | 239千円 | (対象事業費の2/3補助) | ・犬山市生涯学習情報サイト委託料 | 237千円 |  |
| ・市民総合大学講師謝礼      | 1,506千円  |               |         |  |              |         |  |             |         |               |             |       |               |                  |       |  |
| ・市民総合大学開催委託料     | 1,930千円  |               |         |  |              |         |  |             |         |               |             |       |               |                  |       |  |
| ・子ども大学開催委託料      | 6,644千円  | (対象事業費の2/3補助) |         |  |              |         |  |             |         |               |             |       |               |                  |       |  |
| ・ロボット塾開催委託料      | 239千円  | (対象事業費の2/3補助) |         |  |              |         |  |             |         |               |             |       |               |                  |       |  |
| ・犬山市生涯学習情報サイト委託料 | 237千円  |               |         |  |              |         |  |             |         |               |             |       |               |                  |       |  |
| 事業の成果・効果         | 「市民総合大学敬道館」では、時代背景やニーズを踏まえた専門性の高い講座内容で開催し、多くの市民に学びの場を提供することができた。平成30年度延べ受講者数は965名（公開講座、卒業記念講座を含む）。また視覚障がい者や体の不自由な受講生に配慮し、介添人1名を無料で入場可能とするなど受講環境を改善した。各種生涯学習講座として、子ども大学、ICT講座、高齢者教室を、NPO団体や社会教育団体等との連携により開催し、安定した受講者数を確保した。   |               |         |  |              |         |  |             |         |               |             |       |               |                  |       |  |

II：個別事業内訳

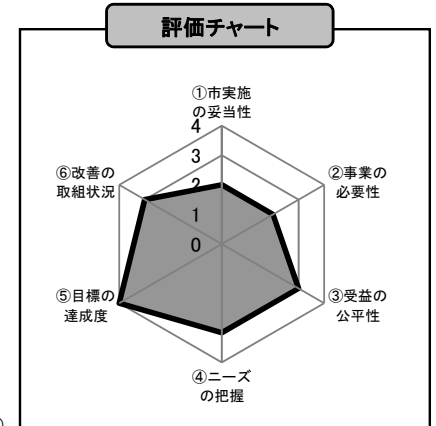
(単位：千円)

(総点検進捗評価は4段階)

| 事業名    | 決算額    | 財源内訳  |       | 一般財源の割合 | 総点検進捗評価 |       |      |
|--------|--------|-------|-------|---------|---------|-------|------|
|        |        | 特定財源  | 一般財源  |         | 情報発信    | 利便性向上 | 他市比較 |
| 市民総合大学 | 4,497  | 2,197 | 2,300 | 51%     | 4       | 4     | 3    |
| 生涯学習講座 | 7,151  | 4,511 | 2,640 | 37%     | 4       | 4     | 3    |
| -      | -      | -     | -     | -       | -       | -     | -    |
| -      | -      | -     | -     | -       | -       | -     | -    |
| -      | -      | -     | -     | -       | -       | -     | -    |
| -      | -      | -     | -     | -       | -       | -     | -    |
| 合計     | 11,648 | 6,708 | 4,940 | 42%     | 4       | 4     | 3    |

III：年度別事業費の状況 (単位：千円)

| 事業費     | H29決算  | H30決算  | R1予算   |
|---------|--------|--------|--------|
|         | 12,466 | 11,648 | 12,218 |
| 財源内訳    |        |        |        |
| 国県支出金   | 3,392  | 0      | 3,758  |
| 地方債     | 0      | 0      | 0      |
| その他     | 3,785  | 6,708  | 4,413  |
| 一般財源    | 5,289  | 4,940  | 4,047  |
| 一般財源の割合 | 42%    | 42%    | 33%    |



IV：事業の評価 (4段階評価、PDCAサイクルのCheck)

| 評価の観点    | 評価 | 評価根拠  |
|----------|----|---|
| ①市実施の妥当性 | 2  | 健康寿命が延伸する中、市民が生涯にわたって学び続けることができる生涯学習機会の提供は、必要である。事業によっては、市内NPO団体等地域との連携により実施したのもあったが、実施主体としては、市が必ずしも行う必要性は低い。 |
| ②事業の必要性  | 2  | 市民総合大学敬道館は延べ965人、子ども大学は436人が参加し、市民の生涯学習の場として寄与したが、市民の日常生活に直結した事業ではない。   |
| ③受益の公平性  | 3  | 少数の市民が対象となる事業ではあるが、受益者負担とし、相応の参加料を徴収している。(市民総合大学では、総事業費の45.5%を参加費で賄っている)                                      |
| ④ニーズの把握  | 3  | 受講者に対し事業終了時にアンケートを実施しており、受講者のニーズ及び満足度を把握している。   |
| ⑤目標の達成度  | 4  | 当初計画した事業は全て実施した。  |
| ⑥改善の取組状況 | 3  | 今後も利用者、時代のニーズに合った事業内容、適正な参加料について検証していく。   |

V：業務の総点検 (PDCAサイクルのC-A)

|                    |   |
|--------------------|---|
| 平成30年度に見直しを実施した事項  | 犬山市生涯学習情報サイトの内容を見直し、より分かりやすいディスプレイや台風接近時等の講座開催の有無を掲載できるようにした。   |
| 令和元年度に見直しを実施している事項 | 2020年から小学校でのプログラミング教育が必修化となることを踏まえ、プログラミング的思考（物事には手順があり、手順を踏むと、物事をうまく解決できるといった、論理的に考えていく力）を身につける一助としてロボット塾基礎講座を10回から15回に増やして開催する。 |
| 今後見直しを検討する事項       | 市民ニーズを反映した生涯学習事業の内容について検証するとともに、受益者負担の考え方のもと、適正な参加料について検討する。  |

VI：課題とその対応策及び今後の方向性 (平成30年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

| 課題  | 対応策・今後の方向性                                   |
|---|--|
| 生涯学習講座への高齢者の参加率は高いが、若年層の参加率が低い。幅広い世代が参加できるような環境整備や講座内容を検討する必要がある。 | 市民のニーズや地域のニーズを的確に把握し、幅広い世代が参加できる生涯学習事業を展開する。 |

平成30年度決算説明書 / 事業評価シート

| 予算 |   |   | 目名     | 決算書(P) |
|----|---|---|--------|--------|
| 款  | 項 | 目 |        |        |
| 9  | 5 | 2 | 青少年育成費 | 354    |

| 部局名 | 教育部     |
|-----|---------|
| 課名  | 文化スポーツ課 |

I：事業概要

|          |   |
|----------|---|
| 施策事業名    | 青少年育成   |
| 事業目的     | 青少年の悩みごとに対する助言及び指導と、非行防止や環境浄化など青少年の健全育成を図る活動の拠点として、犬山青少年センターを運営する。  |
| 事業内容     | <ul style="list-style-type: none"> <li>●全体計画                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年の健全育成及び困難を抱える子ども若者を支援するため、青少年センターを適正に運営する。</li> </ul> </li> <li>●主な事業内容                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年問題協議会委員の委嘱<br/>(地方青少年問題協議会法第3条、犬山市青少年問題協議会条例第2条)</li> <li>・青少年センターの運営</li> <li>・青少年健全育成団体への補助の実施</li> </ul> </li> <li>●主な事業費内訳                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年問題協議会委員報酬 273千円</li> <li>・青少年センター相談員報酬(2人) 3,792千円</li> <li>・適応指導教室へのICTキャリア教育事業 260千円 (対象事業費の2/3補助)</li> <li>・青少年団体補助(3団体) 688千円</li> </ul> </li> </ul> |
| 事業の成果・効果 | 青少年問題協議会を運営するとともに、青少年センター主催で、青少年健全育成講演会、発達障がいの子どもの上手な支援研修会、適応指導教室でのキャリア教育事業等、青少年健全育成のための事業を積極的に推進し、アンケート等により参加者から好評価を得た。講演会の講師料や青少年センター啓発用リーフレットについては、地域自殺対策緊急強化基金事業補助金を充てることで、一般財源の抑制に努めた。   |

II：個別事業内訳

(単位：千円)

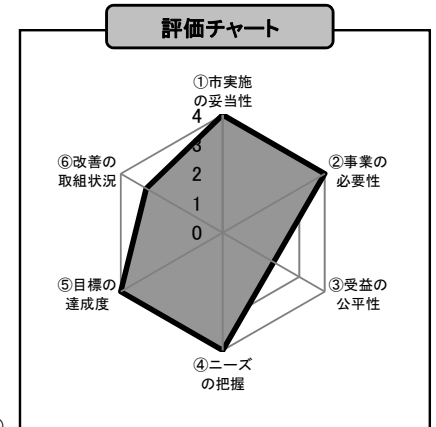
(総点検進捗評価は4段階)

| 事業名        | 決算額   | 財源内訳 |       | 一般財源の割合 | 総点検進捗評価 |       |      |
|------------|-------|------|-------|---------|---------|-------|------|
|            |       | 特定財源 | 一般財源  |         | 情報発信    | 利便性向上 | 他市比較 |
| 青少年問題協議会委員 | 289   | 0    | 289   | 100%    | 4       | 4     | 4    |
| 青少年センター運営  | 4,328 | 261  | 4,067 | 94%     | 4       | 2     | 4    |
| 青少年団体補助    | 688   | 0    | 688   | 100%    | 2       | 2     | 1    |
| -          | -     | -    | -     | -       | -       | -     | -    |
| -          | -     | -    | -     | -       | -       | -     | -    |
| -          | -     | -    | -     | -       | -       | -     | -    |
| -          | -     | -    | -     | -       | -       | -     | -    |
| 合計         | 5,305 | 261  | 5,044 | 95%     | 3       | 2     | 3    |

III：年度別事業費の状況

(単位：千円)

| 事業費     | H29決算 | H30決算 | R1予算  |       |
|---------|-------|-------|-------|-------|
|         |       | 5,221 | 5,305 | 5,573 |
| 財源内訳    | 国庫支出金 | 295   | 261   | 163   |
|         | 地方債   | 0     | 0     | 0     |
|         | その他   | 0     | 0     | 0     |
|         | 一般財源  | 4,926 | 5,044 | 5,410 |
| 一般財源の割合 | 94%   | 95%   | 97%   |       |



IV：事業の評価 (4段階評価、PDCAサイクルのCheck)

| 評価の観点    | 評価 | 評価根拠   |
|----------|----|--|
| ①市実施の妥当性 | 4  | 地方青少年問題協議会法に基づき犬山市青少年問題協議会を設置。同協議会の委員を配置する青少年センターについては、いじめ、引きこもり等、困難を抱える子ども若者の支援を緊く機関であり、市が実施主体となり運営する必要がある。 |
| ②事業の必要性  | 4  | いじめ、引きこもり等、困難を抱える子ども若者が増加している現状を受け、今後も継続的に青少年センターを核として支援していく必要がある。   |
| ③受益の公平性  | 2  | 対象者は少数の市民であるが、国の自殺対策補助金等、自主財源以外の資金の活用を図っている。   |
| ④ニーズの把握  | 4  | 青少年センターで実施する講演会、講座等では、受講者にアンケートを毎回実施している。  |
| ⑤目標の達成度  | 4  | 当初計画した事業は全て実施した。   |
| ⑥改善の取組状況 | 3  | 困難を抱える子ども若者を支援するための仕組みづくりについて、今後も検証していく。   |

V：業務の総点検 (PDCAサイクルのC-A)

|                    |   |
|--------------------|---|
| 平成30年度に見直しを実施した事項  | 青少年健全育成事業補助を行っている踊芸祭と市との関わりを明確化し、役割分担を行った。                              |
| 令和元年度に見直しを実施している事項 | 市民ニーズの高い発達障がいの子どもの上手な支援研修会の開催数を増やし、困難を抱える子ども若者の支援の充実を図る。                |
| 今後見直しを検討する事項       | 青少年の非行・被害防止に取り組む運動としてパトロール活動を行っているが、対象者(子ども)に出会わないため、開催時期と時間帯を見直す必要がある。 |

VI：課題とその対応策及び今後の方向性 (平成30年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

| 課題                             | 対応策・今後の方向性   |
|--------------------------------|--|
| 多様な相談内容に対応できる相談員(人材)の確保が必要である。 | 今後も地域、学校と連携し、困難を抱える子ども若者の支援を行う必要があるため、適正に相談員を配置する。 |

平成30年度決算説明書 / 事業評価シート

| 予算 |   |   | 目名   | 決算書(P) |
|----|---|---|------|--------|
| 款  | 項 | 目 |      |        |
| 9  | 5 | 3 | 公民館費 | 354    |

| 部局名 | 教育部     |
|-----|---------|
| 課名  | 文化スポーツ課 |

I：事業概要

|          |   |
|----------|---|
| 施策事業名    | 南部公民館運営管理   |
| 事業目的     | 南部公民館を生涯学習の場として有効に活用することにより、市民の教育向上及び健康増進を図る  |
| 事業内容     | <ul style="list-style-type: none"> <li>●全体計画                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民、団体の自主的な生涯学習活動及びサークル活動の拠点施設として貸館業務を行う。また中央公民館としての役割を果たす南部公民館の管理・運営を行う。また、利用者の利便性のため、和式トイレの洋式化を進めていく。</li> </ul> </li> <li>●主な事業内容                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館講座を開催するとともに、講座修了生によるクラブ活動を支援する。</li> <li>・市民の文化芸術活動の発表の場を提供する市民ギャラリーの開催。</li> <li>・ワイヤレスシステム更新工事</li> <li>・トイレ改修工事</li> </ul> </li> <li>●主な事業費内訳                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館講座講師謝礼 996千円</li> <li>・舞台関係統合管理業務委託料 8,474千円</li> <li>・舞台照明設備借上料 13,779千円</li> <li>・講堂ワイヤレスシステム更新工事 1,328千円</li> <li>・トイレ改修工事請負費 2,538千円</li> </ul> </li> </ul> |
| 事業の成果・効果 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たなジャンルの講座を開講したことで、新たな受講者を開拓することができた。</li> <li>・成年記念事業として「わんちゃんの楽しいしつけ教室」を開催した。</li> <li>・今年度から市民展に児童生徒作品展を取り込んだことにより、昨年度の3倍もの観覧者(5,288人)を動員し盛大に開催することができた。</li> </ul>  |

II：個別事業内訳

(単位：千円)

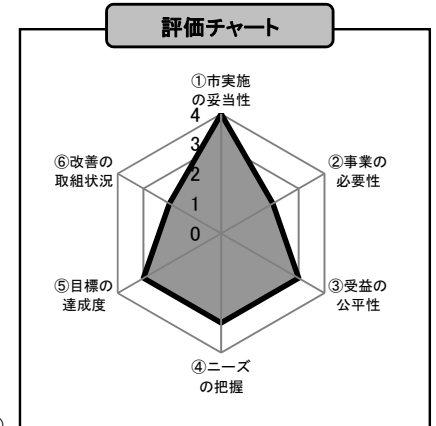
(総点検進捗評価は4段階)

| 事業名      | 決算額    | 財源内訳  |        | 一般財源の割合 | 総点検進捗評価 |       |      |
|----------|--------|-------|--------|---------|---------|-------|------|
|          |        | 特定財源  | 一般財源   |         | 情報発信    | 利便性向上 | 他市比較 |
| 公民館審議会委員 | 22     | 0     | 22     | 100%    | 3       | 2     | 2    |
| 南部公民館管理  | 38,815 | 7,353 | 31,462 | 81%     | 3       | 2     | 2    |
| 南部公民館講座  | 1,014  | 914   | 100    | 10%     | 4       | 2     | 2    |
| 南部公民館営繕  | 5,317  | 0     | 5,317  | 100%    | 2       | 2     | 2    |
| -        | -      | -     | -      | -       | -       | -     | -    |
| -        | -      | -     | -      | -       | -       | -     | -    |
| -        | -      | -     | -      | -       | -       | -     | -    |
| 合計       | 45,168 | 8,267 | 36,901 | 82%     | 3       | 2     | 2    |

III：年度別事業費の状況

(単位：千円)

| 事業費     | H29決算  | H30決算  | R1予算   |
|---------|--------|--------|--------|
|         | 国庫支出金  | 44,039 | 45,168 |
| 地方債     | 0      | 0      | 0      |
| その他     | 6,123  | 8,267  | 7,654  |
| 一般財源    | 37,916 | 36,901 | 53,604 |
| 一般財源の割合 | 86%    | 82%    | 88%    |



IV：事業の評価 (4段階評価、PDCAサイクルのCheck)

| 評価の観点    | 評価 | 評価根拠  |
|----------|----|---|
| ①市実施の妥当性 | 4  | 社会教育法(昭和24年法律第207号)第20条、公民館の設置及び管理に関する条例により設置している施設である。                   |
| ②事業の必要性  | 2  | 市民の日常生活に直接的な影響を与える事業ではないため、状況によっては一時停止が可能。                                |
| ③受益の公平性  | 3  | 少数の市民しか恩恵を受けていない事業ではあるが、入場料や使用料など相応の負担を求めて実施している事業である。                    |
| ④ニーズの把握  | 3  | 事業実施時に来場者に対しアンケートを配布し、意見を集約している。  |
| ⑤目標の達成度  | 3  | 自主事業や営繕工事など、計画していた事業については全て完了し目標を達成することができたが、講座の開講数については目標をわずかに下回る結果となった。 |
| ⑥改善の取組状況 | 2  | 施設の長寿命化のための適切な営繕を行った。稼働率を高めるため、興行主へ営業を行った。                                |

V：業務の総点検 (PDCAサイクルのC-A)

|                    |   |
|--------------------|---|
| 平成30年度に見直しを実施した事項  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設予約システムの導入により、施設の空き状況をスマートフォン等で容易に確認することが可能となった。</li> <li>・舞台運営管理業務委託の仕様を見直したことにより、委託料の削減を実現した。</li> </ul> |
| 令和元年度に見直しを実施している事項 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設を快適に利用することができるよう、計画的な修繕を行う。(平成31年度は、屋上防水改修工事を予定)</li> </ul>   |
| 今後見直しを検討する事項       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業を行うにあたり、補助金を活用できないか検討する。</li> <li>・施設の運営管理に関し、民間委託や指定管理者制度などが導入できないか引き続き検討する。</li> </ul>                  |

VI：課題とその対応策及び今後の方向性 (平成30年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

| 課題  | 対応策・今後の方向性   |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の長寿命化のための効率的な修繕の実施。</li> <li>・施設の稼働率の向上。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「利用したい」、「利用しやすい」と思ってもらえるような施設とするため、優先順位をつけ適正な修繕を実施していく。</li> </ul> |

平成30年度決算説明書 / 事業評価シート

| 予算 |   |   | 目名   | 決算書(P) |
|----|---|---|------|--------|
| 款  | 項 | 目 |      |        |
| 9  | 5 | 3 | 公民館費 | 354    |

| 部局名 | 教育部     |
|-----|---------|
| 課名  | 文化スポーツ課 |

I：事業概要

|          |  |
|----------|--|
| 施策事業名    | 小規模公民館   |
| 事業目的     | 小規模公民館を生涯学習と場として有効に活用することにより、市民の教養向上、健康増進を図る。  |
| 事業内容     | <ul style="list-style-type: none"> <li>●全体計画                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習活動の場を市民に提供するため、小規模公民館(塔野地公民館、犬山西公民館、善師野公民館)を、適正に管理運営する。</li> </ul> </li> <li>●主な事業内容                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の貸館業務</li> <li>・施設の営繕修繕</li> <li>・施設管理に必要な各種委託</li> <li>・借地手続き</li> </ul> </li> <li>●主な事業費内訳                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館管理業務委託 3,767千円</li> <li>・光熱水費 1,317千円</li> <li>・修繕料 637千円</li> </ul> </li> </ul> |
| 事業の成果・効果 | 小規模公民館について、自主的な生涯学習の場を市民に提供するために貸館業務を行った。施設を良好な状態に保つためにファシリティマネジメントの視点を取り入れながら、修繕計画により、施設の適正な維持管理を行った。   |

II：個別事業内訳

(単位：千円)

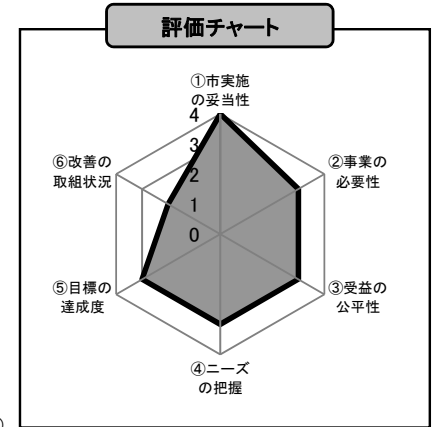
(総点検進捗評価は4段階)

| 事業名          | 決算額   | 財源内訳 |       | 一般財源の割合 | 総点検進捗評価 |       |      |
|--------------|-------|------|-------|---------|---------|-------|------|
|              |       | 特定財源 | 一般財源  |         | 情報発信    | 利便性向上 | 他市比較 |
| 小規模公民館施設管理運営 | 7,558 | 820  | 6,738 | 89%     | 2       | 2     | 2    |
| 小規模公民館営繕     | 0     | 0    | 0     | -       | 0       | 0     | 0    |
| -            | -     | -    | -     | -       | -       | -     | -    |
| -            | -     | -    | -     | -       | -       | -     | -    |
| -            | -     | -    | -     | -       | -       | -     | -    |
| -            | -     | -    | -     | -       | -       | -     | -    |
| 合計           | 7,558 | 820  | 6,738 | 89%     | 2       | 2     | 2    |

III：年度別事業費の状況

(単位：千円)

| 事業費     | H29決算 | H30決算 | R1予算  |
|---------|-------|-------|-------|
|         | 国県支出金 | 0     | 0     |
| 地方債     | 0     | 0     | 0     |
| その他     | 492   | 820   | 372   |
| 一般財源    | 8,293 | 6,738 | 9,110 |
| 一般財源の割合 | 94%   | 89%   | 96%   |



IV：事業の評価 (4段階評価、PDCAサイクルのCheck)

| 評価の観点    | 評価 | 評価根拠  |
|----------|----|---|
| ①市実施の妥当性 | 4  | 社会教育法(昭和24年法律第207号)第20条、公民館の設置及び管理に関する条例により設置している。                        |
| ②事業の必要性  | 3  | 塔野地公民館、善師野公民館については、市と区の協定に基づき設置された施設である。犬山西公民館については老朽化が進んでいるため、閉館を検討している。 |
| ③受益の公平性  | 3  | 条例に基づき使用料を徴収しているが、特定の団体による減免利用が多い。  |
| ④ニーズの把握  | 3  | 休館日に関するアンケートを利用者に実施している。  |
| ⑤目標の達成度  | 3  | 計画的に施設の修繕を実施した。   |
| ⑥改善の取組状況 | 2  | ファシリティマネジメントの視点を取り入れながら、老朽化した施設の在り方を検証している。                               |

V：業務の総点検 (PDCAサイクルのC→A)

|                    |   |
|--------------------|---|
| 平成30年度に見直しを実施した事項  | 各施設の非常照明を総点検し、善師野公民館の非常照明取替修繕を行い、防災対策を実施した。       |
| 令和元年度に見直しを実施している事項 | 塔野地公民館の非常照明取替工事等必要な修繕を計画的に実施する。                   |
| 今後見直しを検討する事項       | 市の方針が確定後、犬山西公民館閉館後の機能移転等について利用団体との調整及び検討を行う予定である。 |

VI：課題とその対応策及び今後の方向性 (平成30年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

| 課題                                 | 対応策・今後の方向性                  |
|------------------------------------|-----------------------------|
| 老朽化した施設の安全性を確保しつつ、どのように維持管理をしていくか。 | 今後も優先順位をつけて施設の修繕を適正に実施していく。 |

平成30年度決算説明書 / 事業評価シート

| 予算 |   |   | 目名       | 決算書(P) |
|----|---|---|----------|--------|
| 款  | 項 | 目 |          |        |
| 9  | 5 | 4 | 学習等供用施設費 | 356    |

|     |         |
|-----|---------|
| 部局名 | 教育部     |
| 課名  | 文化スポーツ課 |

I：事業概要

|          |  |
|----------|--|
| 施策事業名    | 学習等供用施設  |
| 事業目的     | 6つの学習等供用施設を生涯学習の場として有効に活用することにより、市民の教養向上、健康増進を図る。  |
| 事業内容     | <ul style="list-style-type: none"> <li>●全体計画                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習の場を市民に提供するため、市内6カ所の学習等供用施設(犬山南学習等供用施設、城東学習等供用施設、羽黒学習等供用施設、楽田学習等供用施設、上野学習等供用施設、丸山学習等供用施設)の施設管理を適正に行う。</li> </ul> </li> <li>●主な事業内容                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の貸館業務</li> <li>・施設の営繕修繕</li> <li>・施設管理に必要な各種委託</li> </ul> </li> <li>●主な事業費内訳                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設管理業務委託料 14,035千円</li> <li>・光熱水費 5,206千円</li> <li>・修繕料 997千円</li> </ul> </li> </ul> |
| 事業の成果・効果 | 学習等供用施設について、適宜維持修繕を実施しながら、自主的な生涯学習の場を提供した。施設を良好な状態に保つためにファシリティマネジメントの視点を取り入れながら、修繕計画により、施設の適正な維持管理を行った。  |

II：個別事業内訳

(単位：千円)

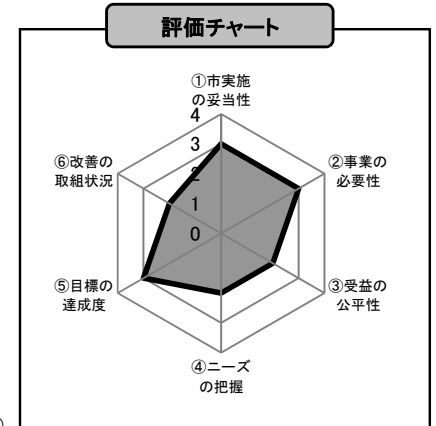
(総点検進捗評価は4段階)

| 事業名       | 決算額    | 財源内訳 |        | 一般財源の割合 | 総点検進捗評価 |       |      |
|-----------|--------|------|--------|---------|---------|-------|------|
|           |        | 特定財源 | 一般財源   |         | 情報発信    | 利便性向上 | 他市比較 |
| 学習等供用施設管理 | 23,071 | 7    | 23,064 | 100%    | 2       | 2     | 2    |
| -         | -      | -    | -      | -       | -       | -     | -    |
| -         | -      | -    | -      | -       | -       | -     | -    |
| -         | -      | -    | -      | -       | -       | -     | -    |
| -         | -      | -    | -      | -       | -       | -     | -    |
| -         | -      | -    | -      | -       | -       | -     | -    |
| 合計        | 23,071 | 7    | 23,064 | 100%    | 2       | 2     | 2    |

III：年度別事業費の状況

(単位：千円)

| 事業費     | H29決算 | H30決算  | R1予算   |        |
|---------|-------|--------|--------|--------|
|         |       | 24,266 | 23,071 | 29,106 |
| 財源内訳    | 国庫支出金 | 0      | 0      | 0      |
|         | 地方債   | 0      | 0      | 0      |
|         | その他   | 2      | 7      | 5      |
|         | 一般財源  | 24,264 | 23,064 | 29,101 |
| 一般財源の割合 | 100%  | 100%   | 100%   |        |



IV：事業の評価 (4段階評価、PDCAサイクルのCheck)

| 評価の観点    | 評価 | 評価根拠  |
|----------|----|---|
| ①市実施の妥当性 | 3  | 学習等供用施設の設置及び管理に関する条例により設置している。                                      |
| ②事業の必要性  | 3  | 市民の教養向上、健康増進等、市民の自主的な学びを支援するために提供している施設であるが、非常時においては縮小もやむを得ない事業である。 |
| ③受益の公平性  | 2  | 特定の団体の定期的な利用が多いが、無料施設のため、受益者の負担がない。                                 |
| ④ニーズの把握  | 2  | 不定期ではあるが、利用者アンケートを実施している。   |
| ⑤目標の達成度  | 3  | 犬山南学児の防草整備、上野学児の休養室畳表替え、城東学児の玄関タイル補修を実施した。                          |
| ⑥改善の取組状況 | 2  | ファシリティマネジメントの視点を取り入れながら、老朽化した施設の在り方を検証している。                         |

V：業務の総点検 (PDCAサイクルのC→A)

|                    |  |
|--------------------|--|
| 平成30年度に見直しを実施した事項  | 各施設の非常照明を総点検した。                            |
| 令和元年度に見直しを実施している事項 | 羽黒学児の非常照明取替工事等、必要な修繕を計画的に実施する。             |
| 今後見直しを検討する事項       | 施設利用に対する全庁的な方針の確立後、受益者負担として使用料の徴収について検討する。 |

VI：課題とその対応策及び今後の方向性 (平成30年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

| 課題                                 | 対応策・今後の方向性  |
|------------------------------------|---|
| 老朽化した施設の安全性を確保しつつ、どのように維持管理をしていくか。 | 今後も優先順位をつけて施設の修繕を適正に実施していく。公共施設全体での統一的な受益者負担及び利用方法の確立が困難な場合は、社会教育施設のみでの検討を行う。 |

平成30年度決算説明書 / 事業評価シート

| 予算 |   |   | 目名   | 決算書(P) |
|----|---|---|------|--------|
| 款  | 項 | 目 |      |        |
| 9  | 5 | 5 | 図書館費 | 358    |

|     |         |
|-----|---------|
| 部局名 | 教育部     |
| 課名  | 文化スポーツ課 |

I：事業概要

|          |  |
|----------|--|
| 施策事業名    | 図書館本館  |
| 事業目的     | 市民に愛される図書館となるため、図書館の適正な管理運営を行う。  |
| 事業内容     | <ul style="list-style-type: none"> <li>●全体計画                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の情報発信の拠点として、その地域の住民に役立つ課題解決の支援、行政情報の発信、地域づくりの拠点など、知識と情報の仲介者として、人と人をつなぐ潤いのある図書館になれるようサービスの充実を図る。</li> </ul> </li> <li>●主な事業内容                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館協議会、子ども読書活動推進計画策定審議会の設置運営</li> <li>・図書館本館の適切な運営と維持管理</li> <li>・図書運搬用の公用車1台(タウンエース)の管理</li> <li>・図書館業務システムの運用・維持管理</li> <li>・図書購入による資料の充実</li> <li>・子どもから大人まで市民の読書活動の推進を図る。</li> <li>・消防設備工事、雨漏対策工事等を実施し安全で快適な環境を維持</li> </ul> </li> <li>●主な事業費内訳                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会、審議会委員報酬 72千円</li> <li>・事業用図書購入 12,370千円</li> <li>・排煙高窓閉鎖装置補修工事、雨漏補修工事 2,527千円</li> </ul> </li> </ul> |
| 事業の成果・効果 | <p>図書館法に基づき設置運営する市立図書館を市民のオアシス「愛される図書館」となるよう適正に管理運営した。</p> <p>施設の長期使用を見込み安全で快適に利用してもらうよう老朽化した施設と設備の営繕工事を実施した。</p> <p>子ども図書館まつり、子ども俳句教室、子ども司書養成講座を開催し、子ども読書活動推進事業を積極的に実施した。</p>   |

II：個別事業内訳

(単位：千円)

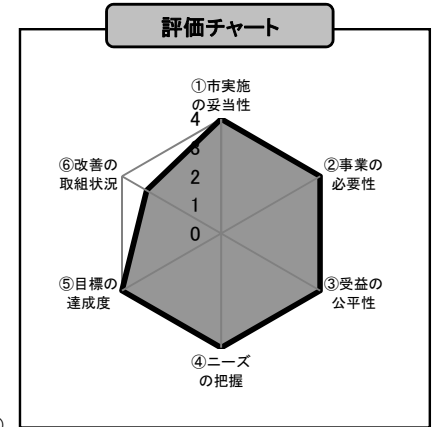
(総点検進捗評価は4段階)

| 事業名         | 決算額    | 財源内訳 |        | 一般財源の割合 | 総点検進捗評価 |       |      |
|-------------|--------|------|--------|---------|---------|-------|------|
|             |        | 特定財源 | 一般財源   |         | 情報発信    | 利便性向上 | 他市比較 |
| 図書館協議会委員    | 72     | 0    | 72     | 100%    | 4       | 4     | 4    |
| 図書館本館管理     | 26,311 | 678  | 25,633 | 97%     | 3       | 3     | 3    |
| 公用車管理       | 136    | 0    | 136    | 100%    | 4       | 4     | 4    |
| 図書館システム運用管理 | 5,901  | 0    | 5,901  | 100%    | 3       | 3     | 3    |
| 図書館図書購入     | 15,921 | 0    | 15,921 | 100%    | 4       | 4     | 4    |
| 図書館営繕       | 3,009  | 0    | 3,009  | 100%    | 3       | 3     | 3    |
| -           | -      | -    | -      | -       | -       | -     | -    |
| 合計          | 51,350 | 678  | 50,672 | 99%     | 3       | 3     | 3    |

III：年度別事業費の状況

(単位：千円)

| 事業費     | H29決算 | H30決算  | R1予算   |        |
|---------|-------|--------|--------|--------|
|         |       | 52,178 | 51,350 | 73,162 |
| 財源内訳    | 国庫支出金 | 0      | 0      | 0      |
|         | 地方債   | 0      | 0      | 0      |
|         | その他   | 177    | 678    | 20,606 |
|         | 一般財源  | 52,001 | 50,672 | 52,556 |
| 一般財源の割合 | 100%  | 99%    | 72%    |        |



IV：事業の評価 (4段階評価、PDCAサイクルのCheck)

| 評価の観点    | 評価 | 評価根拠   |
|----------|----|--|
| ①市実施の妥当性 | 4  | 図書館法及び犬山市立図書館の設置及び管理に関する条例に基づき市が設置   |
| ②事業の必要性  | 4  | 図書館は住民の知る欲求に応えるために自治体が設置し運営するものであり、住民が情報を入手し、教育や文化の発展に寄与する場である。                                    |
| ③受益の公平性  | 4  | 図書館は乳幼児から高齢者まで住民すべてを対象とし、如何なる住民であっても資料提供の求めに応じるものである。  |
| ④ニーズの把握  | 4  | 図書館は何人でも利用できる施設であり、メール、投書、窓口、図書リクエスト、図書館協議会など様々な方法で意見を受け取り図書館運営に反映させている。また、子ども読書アンケートにより読書意識を把握した。 |
| ⑤目標の達成度  | 4  | 施設の長期使用を見込み安全で快適に利用してもらうよう老朽化した施設の安全対策や館内の補修工事を実施した。また、子ども読書活動推進事業を積極的に実施し多くの子どもや保護者と交流を持つことができた。  |
| ⑥改善の取組状況 | 3  | 安全かつ安心して利用できるよう営繕を適切に実施する。子ども読書活動推進事業を積極的に実施し図書館利用の促進につなげる。従来のサービスを見直し利用者の利便性の向上を図り市民に愛される図書館を目指す。 |

V：業務の総点検 (PDCAサイクルのC-A)

|                    |  |
|--------------------|--|
| 平成30年度に見直しを実施した事項  | 安全かつ安心して利用してもらえるよう排煙装置補修工事、雨漏対策工事等を実施した。子どものための俳句教室や司書養成講座を開催し、また、地元企業とのコラボセミナーなど地域に密着した図書館としての事業展開を行った。子どもが来館しやすいよう夏休みは閉館時間を早め図書館利用の促進を図った。 |
| 令和元年度に見直しを実施している事項 | 図書館利用の促進を図るため、図書館2階展示室を子ども読書空間としてリニューアルするために犬山市子ども読書活動推進計画を改定し公表する。また、市民を対象にインターネットから図書の貸出期間の延長手続きが可能となるように変更する。                             |
| 今後見直しを検討する事項       | 視聴覚資料の館内閲覧及び館外貸し出しについて利用頻度と機器及び資料の状態などを考慮しサービスの継続の可否について検討する。  |

VI：課題とその対応策及び今後の方向性 (平成30年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

| 課題   | 対応策・今後の方向性   |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども読書空間設計</li> <li>・館内LED工事設計</li> <li>・老朽化機器の更新と施設の修繕</li> <li>・郷土資料の収集と公開</li> <li>・図書館を核とした交流の場の創出</li> </ul> | <p>図書館の目的を果たすため、子ども読書活動の推進に力を注ぐことが市立図書館の重要な役割であり、そのために2階展示室を子ども読書空間としてリニューアルする。</p> <p>また、地域に役立つ図書館となるために、セミナー、講座、教室などを開催し、タイムリーかつ新たな情報を発信できる図書館として発信力の強化に努める。</p> |

平成30年度決算説明書 / 事業評価シート

| 予算 |   |   | 目名   | 決算書(P) |
|----|---|---|------|--------|
| 款  | 項 | 目 |      |        |
| 9  | 5 | 5 | 図書館費 | 358    |

|     |         |
|-----|---------|
| 部局名 | 教育部     |
| 課名  | 文化スポーツ課 |

I：事業概要

|          |  |
|----------|--|
| 施策事業名    | 楽田ふれあい図書館  |
| 事業目的     | 楽田ふれあい図書館の管理及び運営を適切に行い読書の推進を図る。  |
| 事業内容     | <ul style="list-style-type: none"> <li>●全体計画                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週土曜日、日曜日の午後0時30分から午後4時30分まで開館し図書館サービスを提供する。</li> </ul> </li> <li>●主な事業内容                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書購入により資料を充実する。</li> <li>・図書館を適正に運営する。</li> </ul> </li> <li>●主な事業費内訳                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞、雑誌等の購入及び通信運搬費 130千円</li> <li>・事業用図書購入費 298千円</li> </ul> </li> </ul> |
| 事業の成果・効果 | 楽田ふれあい図書館に来館したことがない住民に足を運んでもらうため、市立図書館と共通企画展示を行ったことや、新たな本に出合うため展示に工夫を凝らす等、利用促進を図ることで市民の知る欲求に応えることができた。   |

II：個別事業内訳

(単位：千円)

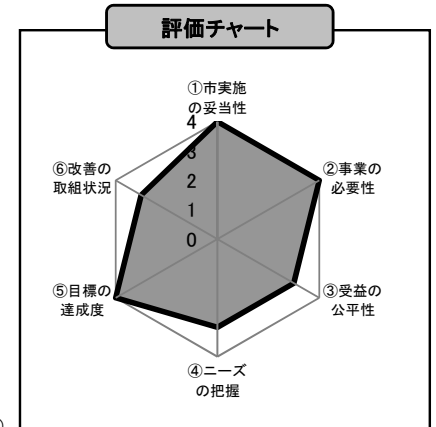
(総点検進捗評価は4段階)

| 事業名         | 決算額 | 財源内訳 |      | 一般財源の割合 | 総点検進捗評価 |       |      |
|-------------|-----|------|------|---------|---------|-------|------|
|             |     | 特定財源 | 一般財源 |         | 情報発信    | 利便性向上 | 他市比較 |
| 楽田ふれあい図書館管理 | 531 | 0    | 531  | 100%    | 3       | 3     | 3    |
| 楽田ふれあい図書館移設 | 0   | 0    | 0    | -       | 0       | 0     | 0    |
| -           | -   | -    | -    | -       | -       | -     | -    |
| -           | -   | -    | -    | -       | -       | -     | -    |
| -           | -   | -    | -    | -       | -       | -     | -    |
| -           | -   | -    | -    | -       | -       | -     | -    |
| 合計          | 531 | 0    | 531  | 100%    | 3       | 3     | 3    |

III：年度別事業費の状況

(単位：千円)

| 事業費     | H29決算 | H30決算 | R1予算  |
|---------|-------|-------|-------|
|         | 国庫支出金 | 0     | 0     |
| 地方債     | 0     | 0     | 0     |
| その他     | 0     | 0     | 0     |
| 一般財源    | 531   | 531   | 1,032 |
| 一般財源の割合 | 100%  | 100%  | 100%  |



IV：事業の評価 (4段階評価、PDCAサイクルのCheck)

| 評価の観点    | 評価 | 評価根拠   |
|----------|----|--|
| ①市実施の妥当性 | 4  | 住民の知る欲求に答え、様々な図書資料を提供することは自治体としての責務である。                                  |
| ②事業の必要性  | 4  | 図書館は住民の知る欲求に応えるために自治体が運営するものであり、住民が情報を手し、教育や文化の発展に資する場である。               |
| ③受益の公平性  | 3  | 図書館は乳幼児から高齢者まで住民すべてを対象とし、如何なる住民であっても資料提供の求めに応じるものである。                    |
| ④ニーズの把握  | 3  | 図書館は何人でも利用できる施設であり、メール、投書、窓口、図書リクエスト、図書館協議会など様々な方法で意見を受け取り図書館運営に反映させている。 |
| ⑤目標の達成度  | 4  | 来館者数及び貸出冊数は前年度と比較し、いずれも同程度の利用状況である。                                      |
| ⑥改善の取組状況 | 3  | 開館時間、情報発信方法等の従来のサービスを検討し、新たなサービス展開を図っていくための改善を検討中である。                    |

V：業務の総点検 (PDCAサイクルのC-A)

|                    |  |
|--------------------|--|
| 平成30年度に見直しを実施した事項  | 必要とされる図書館となるために、利用者が求める資料を的確に提供できるようにファレンスサービスの向上が必要であると考え、窓口担当の司書率を向上した。新たな本を届けるため本館と共通企画展示を実施した。 |
| 令和元年度に見直しを実施している事項 | 楽田小学校体育館建設に伴い楽田小高学年図書館との併設運用開始に向け、現状以上のサービス提供ができるよう運営体制等を見直す。                                      |
| 今後見直しを検討する事項       | 楽田小学校体育館建設に伴い、開館時間、人員配置、学校図書館との連携等、市南部地域の住民のための図書館として更なるサービス強化を検討する。                               |

VI：課題とその対応策及び今後の方向性 (平成30年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

| 課題  | 対応策・今後の方向性   |
|---|--|
| 楽田ふれあい図書館は開館日、開館時間からみて利用者への図書館サービスの提供時間を見直す必要がある。 | 楽田小高学年図書館との併設に向け関係課と運営方法について協議し、これまでの運営形態にとられないサービス展開を検討する。また、一人でも多くの市民に来館してもらうようPRに努める。 |



平成30年度決算説明書 / 事業評価シート

| 予算 |   |   | 目名   | 決算書(P) |
|----|---|---|------|--------|
| 款  | 項 | 目 |      |        |
| 9  | 5 | 5 | 図書館費 | 361    |

| 部局名 | 教育部     |
|-----|---------|
| 課名  | 文化スポーツ課 |

I：事業概要

|          |   |
|----------|---|
| 施策事業名    | 教育振興（基金）  |
| 事業目的     | 教育振興事業基金を適正に運用し計画的に図書館図書を購入を行う。   |
| 事業内容     | <ul style="list-style-type: none"> <li>●全体計画                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育振興事業基金を管理及び運用し計画的に図書館図書を購入</li> </ul> </li> <li>●主な事業内容                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的な図書館図書を購入</li> <li>・基金運用</li> </ul> </li> <li>●主な事業費内訳                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業用図書購入費 200千円</li> <li>・教育振興事業基金利子積立 1千円</li> </ul> </li> </ul> |
| 事業の成果・効果 | 犬山市教育振興事業基金より教育の振興に資する図書を購入することに加え、運用で生じた利子収入を基金に積立て適正に運用した。  |

II：個別事業内訳

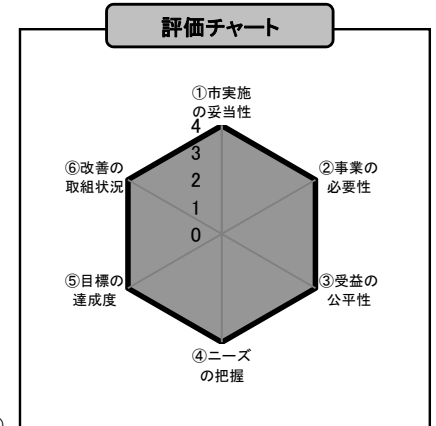
(単位：千円)

(総点検進捗評価は4段階)

| 事業名      | 決算額 | 財源内訳 |      | 一般財源の割合 | 総点検進捗評価 |       |      |
|----------|-----|------|------|---------|---------|-------|------|
|          |     | 特定財源 | 一般財源 |         | 情報発信    | 利便性向上 | 他市比較 |
| 教育振興（基金） | 201 | 201  | 0    | 0%      | 4       | 4     | 4    |
| -        | -   | -    | -    | -       | -       | -     | -    |
| -        | -   | -    | -    | -       | -       | -     | -    |
| -        | -   | -    | -    | -       | -       | -     | -    |
| -        | -   | -    | -    | -       | -       | -     | -    |
| -        | -   | -    | -    | -       | -       | -     | -    |
| 合計       | 201 | 201  | 0    | 0%      | 4       | 4     | 4    |

III：年度別事業費の状況 (単位：千円)

| 事業費     | H29決算 | H30決算 | R1予算 |       |
|---------|-------|-------|------|-------|
|         |       | 1,002 | 201  | 2,002 |
| 財源内訳    | 国庫支出金 | 0     | 0    | 0     |
|         | 地方債   | 0     | 0    | 0     |
|         | その他   | 1,002 | 201  | 2,002 |
|         | 一般財源  | 0     | 0    | 0     |
| 一般財源の割合 | 0%    | 0%    | 0%   |       |



IV：事業の評価 (4段階評価、PDCAサイクルのCheck)

| 評価の観点    | 評価 | 評価根拠   |
|----------|----|--|
| ①市実施の妥当性 | 4  | 教育振興のための図書充実を目的とした教育振興事業基金の適正な運用と図書購入を行なう。                               |
| ②事業の必要性  | 4  | 教育振興のための図書充実を目的としているため継続が必要である。  |
| ③受益の公平性  | 4  | 図書館の本来の目的はすべての市民に対し教育と文化の発展に寄与することでありすべての市民が利用可能である。                     |
| ④ニーズの把握  | 4  | 利用者からのリクエスト、学校図書館からのリクエスト、図書館の蔵書構成等により把握している。                            |
| ⑤目標の達成度  | 4  | 基金の目的である教育振興に資する図書を購入するために、当初は運用による利子収入を充てていたが、金利低下により利子収入は基金に積立てることとした。 |
| ⑥改善の取組状況 | 4  | 教育振興目的の図書購入は必要であるが利子収入の減少により利子収入は積み立て、計画的かつ効果的に図書購入を行なうこととした。            |

V：業務の総点検 (PDCAサイクルのC→A)

|                    |   |
|--------------------|---|
| 平成30年度に見直しを実施した事項  | 必要な図書資料を利子収入の減少により購入できないときは基金に積み立てることとし、平成30年度は学校の調べ学習や読書指導に有益な図書を購入した。 |
| 令和元年度に見直しを実施している事項 | 学校連携図書の充実を図るため基金より計画的に図書を購入する。  |
| 今後見直しを検討する事項       | 学校図書館との連携を強化し選書の共同化を行うことで資料の利用促進を図る。                                    |

VI：課題とその対応策及び今後の方向性 (平成30年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

| 課題   | 対応策・今後の方向性  |
|--|---|
| 教育振興資金基金の運用で得られる利子収入が金利の低下のため、多くの図書を購入できない状況にある。 | 必要な図書資料を購入するために選書を重視し有効に図書を購入していく。利子収入不足の場合は利子収入を積み立て次年度以降にその図書を購入する。学校連携図書の充実を図るため計画的かつ効果的に図書充実を図ることとする。 |

平成30年度決算説明書 / 事業評価シート

| 予算 |   |   | 目名        | 決算書(P) |
|----|---|---|-----------|--------|
| 款  | 項 | 目 |           |        |
| 9  | 5 | 6 | 勤労青少年ホーム費 | 362    |

|     |         |
|-----|---------|
| 部局名 | 教育部     |
| 課名  | 文化スポーツ課 |

I：事業概要

|          |  |
|----------|--|
| 施策事業名    | 勤労青少年ホーム   |
| 事業目的     | 勤労青少年ホームを生涯学習の場として有効に活用することにより、市民の教養向上、健康増進を図る。  |
| 事業内容     | <p>●全体計画<br/>犬山市勤労青少年ホームの貸館業務及び維持管理を適正に行い、市民の自主的な生涯学習の場として有効に活用されるよう施設運営を行う。</p> <p>●主な事業内容<br/>・施設の貸館業務<br/>・施設の修繕<br/>・施設に必要な各種委託<br/>・施設の営繕工事</p> <p>●主な事業費内訳<br/>・施設管理業務委託料 8,021千円<br/>・光熱水費 881千円<br/>・屋外非常階段塗替工事 778千円<br/>・屋内軽運動場床貼替工事 1,836千円</p> |
| 事業の成果・効果 | 自主的な生涯学習の場を市民に提供するために貸館業務を行った。施設を良好な状態に保つためにファシリティマネジメントの視点を取り入れながら、修繕計画により、施設の適正な維持管理を行った。  |

II：個別事業内訳

(単位：千円)

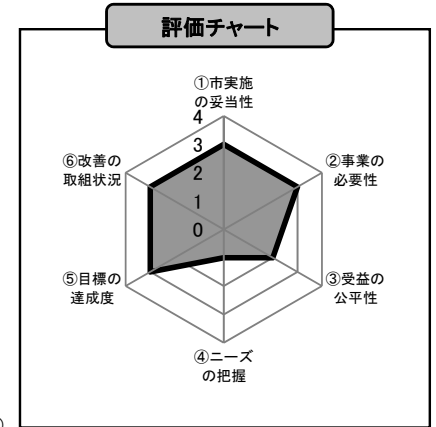
(総点検進捗評価は4段階)

| 事業名        | 決算額    | 財源内訳 |        | 一般財源の割合 | 総点検進捗評価 |       |      |
|------------|--------|------|--------|---------|---------|-------|------|
|            |        | 特定財源 | 一般財源   |         | 情報発信    | 利便性向上 | 他市比較 |
| 勤労青少年ホーム管理 | 10,322 | 84   | 10,238 | 99%     | 4       | 3     | 2    |
| 勤労青少年ホーム営繕 | 2,614  | 0    | 2,614  | 100%    | 4       | 4     | 1    |
| -          | -      | -    | -      | -       | -       | -     | -    |
| -          | -      | -    | -      | -       | -       | -     | -    |
| -          | -      | -    | -      | -       | -       | -     | -    |
| -          | -      | -    | -      | -       | -       | -     | -    |
| 合計         | 12,936 | 84   | 12,852 | 99%     | 4       | 3     | 1    |

III：年度別事業費の状況

(単位：千円)

| 事業費     | H29決算 | H30決算  | R1予算   |
|---------|-------|--------|--------|
|         | 9,825 | 12,936 | 17,883 |
| 財源内訳    |       |        |        |
| 国庫支出金   | 0     | 0      | 0      |
| 地方債     | 0     | 0      | 0      |
| その他     | 72    | 84     | 25     |
| 一般財源    | 9,753 | 12,852 | 17,858 |
| 一般財源の割合 | 99%   | 99%    | 100%   |



IV：事業の評価 (4段階評価、PDCAサイクルのCheck)

| 評価の観点    | 評価 | 評価根拠  |
|----------|----|---|
| ①市実施の妥当性 | 3  | 犬山市勤労青少年ホームの設置及び管理に関する条例に基づき設置している。                                 |
| ②事業の必要性  | 3  | 市民の教養向上、健康増進等、市民の自主的な学びを支援するために提供している施設であるが、非常時においては縮小もやむを得ない事業である。 |
| ③受益の公平性  | 2  | 特定の団体の定期的な利用が多いが、無料施設のため、受益者の負担がない。                                 |
| ④ニーズの把握  | 1  | 受益者のニーズの把握はしていない。   |
| ⑤目標の達成度  | 3  | 数値目標は設定していないが、適切な貸出業務と計画的な修繕を実施した。                                  |
| ⑥改善の取組状況 | 3  | 今後近隣市町の情報収集等を進め、適正な利用方法や施設の在り方の見直しを進めていく。                           |

V：業務の総点検 (PDCAサイクルのC-A)

|                    |  |
|--------------------|--|
| 平成30年度に見直しを実施した事項  | 施設の安全な利用のために、老朽化した非常階段の塗替工事及び軽運動場床貼替工事等必要な工事を実施した。 |
| 令和元年度に見直しを実施している事項 | 非常用照明取替工事及び空調機取替工事、屋上防水工事を計画的に実施する。                |
| 今後見直しを検討する事項       | 施設利用に対する全庁的な方針の確立後、受益者負担として使用料の徴収についても検討する。        |

VI：課題とその対応策及び今後の方向性 (平成30年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

| 課題                                 | 対応策・今後の方向性                  |
|------------------------------------|-----------------------------|
| 老朽化した施設を安全性の確保をしつつ、どのように維持管理していくか。 | 今後も優先順位をつけて施設の修繕を適正に実施していく。 |

平成30年度決算説明書 / 事業評価シート

| 予算 |   |   | 目名      | 決算書(P) |
|----|---|---|---------|--------|
| 款  | 項 | 目 |         |        |
| 9  | 5 | 7 | 市民文化会館費 | 362    |

|     |         |
|-----|---------|
| 部局名 | 教育部     |
| 課名  | 文化スポーツ課 |

I：事業概要

|          |   |
|----------|---|
| 施策事業名    | 市民文化会館運営管理  |
| 事業目的     | 芸術文化の拠点施設として市民の文化の向上を図る   |
| 事業内容     | <ul style="list-style-type: none"> <li>●全体計画                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の舞台芸術鑑賞及び発表の場、文化活動の場として貸館業務を行う。</li> <li>また、施設を良好な状態に保つために維持管理を行う。</li> </ul> </li> <li>●主な事業内容                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化協会や音楽文化協会と協力して、「市民芸能祭」や「市民音楽祭」など市民、文化団体が発表する場を提供するとともに、参加型の事業を展開する</li> <li>・自主事業として、ファミリー向けの事業を開催する。</li> <li>・市民に対し、芸術性や創造性に優れた事業を提供する団体に支援を行う共催事業の開催。</li> <li>・屋上防水第五期改修工事</li> </ul> </li> <li>●主な事業費内訳                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・舞台関係統合管理委託料 9,183千円</li> <li>・自主事業委託料 3,715千円</li> <li>・舞台照明設備借上料 28,657千円</li> <li>・会場借上料 677千円</li> <li>・屋上防水第五期改修工事 5,076千円</li> </ul> </li> </ul> |
| 事業の成果・効果 | ・興行主に犬山市民文化会館の売り込みを行い、いくつかのイベントを呼び込むことに成功した。その結果、昨年度を上回る稼働率を達成することができた。   |

II：個別事業内訳

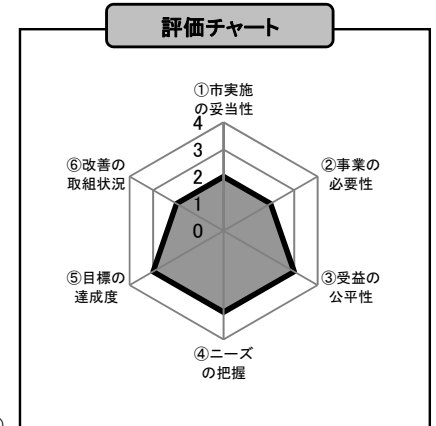
(単位：千円)

(総点検進捗評価は4段階)

| 事業名       | 決算額    | 財源内訳   |        | 一般財源の割合 | 総点検進捗評価 |       |      |
|-----------|--------|--------|--------|---------|---------|-------|------|
|           |        | 特定財源   | 一般財源   |         | 情報発信    | 利便性向上 | 他市比較 |
| 市民文化会館管理  | 54,155 | 8,582  | 45,573 | 84%     | 3       | 2     | 2    |
| 市民文化会館利活用 | 4,677  | 4,677  | 0      | 0%      | 3       | 2     | 2    |
| 市民文化会館営繕  | 6,134  | 0      | 6,134  | 100%    | 4       | 2     | 2    |
| -         | -      | -      | -      | -       | -       | -     | -    |
| -         | -      | -      | -      | -       | -       | -     | -    |
| -         | -      | -      | -      | -       | -       | -     | -    |
| -         | -      | -      | -      | -       | -       | -     | -    |
| 合計        | 64,966 | 13,259 | 51,707 | 80%     | 3       | 2     | 2    |

III：年度別事業費の状況 (単位：千円)

| 事業費     | H29決算 | H30決算  | R1予算   |        |
|---------|-------|--------|--------|--------|
|         |       | 67,547 | 64,966 | 67,143 |
| 財源内訳    | 国庫支出金 | 0      | 0      | 0      |
|         | 地方債   | 0      | 0      | 0      |
|         | その他   | 13,379 | 13,259 | 15,245 |
|         | 一般財源  | 54,168 | 51,707 | 51,898 |
| 一般財源の割合 | 80%   | 80%    | 77%    |        |



IV：事業の評価 (4段階評価、PDCAサイクルのCheck)

| 評価の観点    | 評価 | 評価根拠   |
|----------|----|--|
| ①市実施の妥当性 | 2  | 他市町で民間によるサービスを実施している事例があるため、民間委託や指定管理者制度の活用可否について検討の余地がある。               |
| ②事業の必要性  | 2  | 市民の日常生活に直接的な影響を与える事業ではないため、状況によっては一時停止が可能。                               |
| ③受益の公平性  | 3  | 少数の市民しか恩恵を受けていない事業ではあるが、入場料や使用料など相応の負担を求めて実施している事業である。                   |
| ④ニーズの把握  | 3  | 事業実施時に来場者に対しアンケートを配布し、意見を集約している。   |
| ⑤目標の達成度  | 3  | 自主事業や営繕工事など、計画していた事業については全て完了し目標を達成することができたが、自主事業の入場者数については目標を下回る結果となった。 |
| ⑥改善の取組状況 | 2  | 施設の長寿命化のための適切な営繕を行った。稼働率を高めるため、興行主へ営業を行った。                               |

V：業務の総点検 (PDCAサイクルのC→A)

|                    |   |
|--------------------|---|
| 平成30年度に見直しを実施した事項  | ・施設予約システムの導入により、施設の空き状況をスマートフォン等で容易に確認することが可能となった。<br>・舞台運営管理業務委託の仕様を見直したことで、委託料の削減を実現した。 |
| 令和元年度に見直しを実施している事項 | ・親子向け事業のほか、幅広い年代を対象とした事業を展開する。  |
| 今後見直しを検討する事項       | ・事業を行うにあたり、補助金を活用できないか検討する。<br>・施設の運営管理に関し、民間委託や指定管理者制度などが導入できないか引き続き検討する。                |

VI：課題とその対応策及び今後の方向性 (平成30年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

| 課題                                    | 対応策・今後の方向性   |
|---------------------------------------|--|
| ・施設の長寿命化のための効率的な修繕の実施。<br>・施設の稼働率の向上。 | ・「利用したい」、「利用しやすい」と思ってもらえるような施設とするため、優先順位をつけ適正な修繕を実施していく。 |

平成30年度決算説明書 / 事業評価シート

| 予算 |   |   | 目名      | 決算書(P) |
|----|---|---|---------|--------|
| 款  | 項 | 目 |         |        |
| 9  | 6 | 1 | 保健体育総務費 | 376    |

|     |         |
|-----|---------|
| 部局名 | 教育部     |
| 課名  | 文化スポーツ課 |

I：事業概要

|          |  |
|----------|--|
| 施策事業名    | 保健体育総務事務   |
| 事業目的     | 市民の健康づくりを目的とし、スポーツ意識の高揚、スポーツの普及・振興を図る。   |
| 事業内容     | <p>●全体計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ分野の市民の活躍や取組みを一層推進させるための事務事業を実施する。</li> <li>・スポーツ基本法第32条に規定のスポーツ推進委員会を中心に、市民に対するスポーツの推進のための事業やスポーツの指導及び助言などを行う。同時に、各委員に対するその職務を全うする上で必要となる意識喚起や、理解、能力の取得を支援する。</li> <li>・市民のスポーツの普及のため、市民スポーツ活動を展開し、本市スポーツ振興の中核を担う市体育協会の事業関連経費に対し補助金の交付を行う。</li> </ul> <p>●主な事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・犬山市スポーツ賞・全国大会等出場者激励費関連業務</li> <li>・スポーツ推進委員関連業務</li> <li>・体育協会補助業務</li> </ul> <p>●主な事業費内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ推進委員報酬(24名分) 1,440千円</li> <li>・体育協会補助金 14,320千円</li> <li>・スポーツ競技全国大会出場者賜金 580千円</li> </ul> |
| 事業の成果・効果 | 生涯スポーツやニュースポーツなど誰もが気軽に参加できる軽スポーツ活動の実施や実施支援を通じて、市民に対するスポーツへの「関心」や「機会」や「競技力の向上」を推進することができた。市民への定着が進み、行事等への参加者数も安定して一定の成果(数値)を残すことができた。競技スポーツの振興も、スポーツ団体補助(体育協会)を通じて、各種目での大会の開催のほか、指導者の育成やジュニア世代の競技力向上、各種大会への選手派遣など、多彩な事業を通じて推進した。近隣市町や市内各種組織との連携や、会員独自の人脈・ネットワーク・機動力・実行力を生かした事業展開は、行政では為しえることのできない内容が多く、補助金交付による行政効果は大きい。  |

II：個別事業内訳

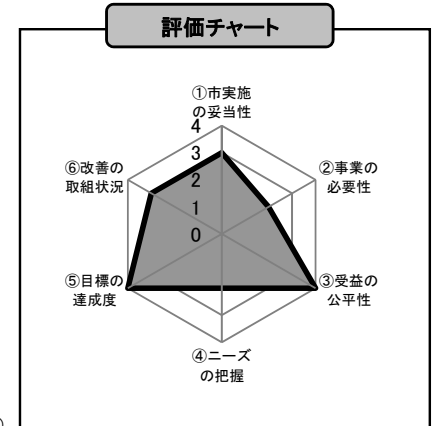
(単位：千円)

(総点検進捗評価は4段階)

| 事業名      | 決算額    | 財源内訳 |        | 一般財源の割合 | 総点検進捗評価 |       |      |
|----------|--------|------|--------|---------|---------|-------|------|
|          |        | 特定財源 | 一般財源   |         | 情報発信    | 利便性向上 | 他市比較 |
| 保健体育総務事務 | 1,198  | 0    | 1,198  | 100%    | 4       | 3     | 3    |
| スポーツ推進委員 | 2,314  | 0    | 2,314  | 100%    | 4       | 4     | 4    |
| スポーツ団体補助 | 14,320 | 0    | 14,320 | 100%    | 4       | 4     | 4    |
| -        | -      | -    | -      | -       | -       | -     | -    |
| -        | -      | -    | -      | -       | -       | -     | -    |
| -        | -      | -    | -      | -       | -       | -     | -    |
| 合計       | 17,832 | 0    | 17,832 | 100%    | 4       | 3     | 3    |

III：年度別事業費の状況 (単位：千円)

| 事業費     | H29決算 | H30決算  | R1予算   |        |
|---------|-------|--------|--------|--------|
|         |       | 17,426 | 17,832 | 18,870 |
| 財源内訳    | 国庫支出金 | 0      | 0      | 0      |
|         | 地方債   | 0      | 0      | 0      |
|         | その他   | 0      | 0      | 0      |
|         | 一般財源  | 17,426 | 17,832 | 18,870 |
| 一般財源の割合 | 100%  | 100%   | 100%   |        |



IV：事業の評価 (4段階評価、PDCAサイクルのCheck)

| 評価の観点    | 評価 | 評価根拠   |
|----------|----|--|
| ①市実施の妥当性 | 3  | スポーツ推進委員はスポーツ基本法第32条に規定され、スポーツ推進事業の実施などをその役割としている。また、表彰や金銭の交付をもってスポーツを行う市民を激励・顕彰することは、その採算面からも民間サービスでは考えにくい。 |
| ②事業の必要性  | 2  | 豊かな市民生活を送る上では有効な施策であるが、日常生活よりも優先すべき分野ではない。   |
| ③受益の公平性  | 4  | 全ての事業の対象は市民全員である。  |
| ④ニーズの把握  | 2  | 事業によっては参加者アンケートを実施している。  |
| ⑤目標の達成度  | 4  | 計画事業は全て実施し、目標を達成した。  |
| ⑥改善の取組状況 | 3  | 事業によっては、受益者数(参加者数など)のほか、アンケートなどによるニーズ把握も順次取り入れていく必要がある。  |

V：業務の総点検 (PDCAサイクルのC-A)

|                    |  |
|--------------------|--|
| 平成30年度に見直しを実施した事項  | 平成30年度から新たに施行した補助要綱に基づき、補助対象事業及び経費を従来よりも詳細に確認・検証し、体育協会補助金を交付した。                                |
| 令和元年度に見直しを実施している事項 | スポーツ推進委員事業(レクリエーション・スポーツ講習会)事業において、従来からの参加者である小学生中心の若年層だけでなく、送迎を行う保護者などの参加も視野に入れた試行的な取組みを実施する。 |
| 今後見直しを検討する事項       | 民間団体や他団体などによる類似事業は整理し、連携での開催、縮小・廃止、新規事業の展開などを検討していく。   |

VI：課題とその対応策及び今後の方向性 (平成30年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

| 課題   | 対応策・今後の方向性  |
|--|---|
| 公共サービスとして提供するスポーツ事業で収支バランスを図ることは著しく困難であるため、収入の確保(参加料の設定など)や事業の圧縮などを視野に入れていく。 | 事業実施主体(体育協会・スポーツ表彰審査委員会・スポーツ推進委員連絡協議会)の主体性を最大限に尊重し、協力・支援を行い事業を展開すると同時に、指導・監督の視点をもち、適宜協議を行いながら進めていく。 |

平成30年度決算説明書 / 事業評価シート

| 予算 |   |   | 目名      | 決算書(P) |
|----|---|---|---------|--------|
| 款  | 項 | 目 |         |        |
| 9  | 6 | 2 | スポーツ振興費 | 378    |

| 部局名 | 教育部     |
|-----|---------|
| 課名  | 文化スポーツ課 |

I：事業概要

|          |   |
|----------|---|
| 施策事業名    | スポーツ振興  |
| 事業目的     | 市民の健康づくりを目的とし、スポーツ意識の高揚、スポーツの普及・振興を図る。  |
| 事業内容     | <p>●全体計画<br/>様々な場面で市民が「スポーツに親しむ」、「体を動かす」機会を提供する。</p> <p>●主な事業内容<br/>・スポーツ施設以外も、市民にスポーツに親しむ場所として提供するため、学校体育施設開放、市民プール代替事業（モンパプール利用の市民優待）の実施<br/>・市内4中学校への部活動指導者の派遣<br/>・市民が参加できる各種スポーツ大会（スポーツ少年少女フェスティバル、四市交歓体育大会、愛知駅伝、ふれあい運動会、軽スポーツ大会、ウォーキング大会、市民大会、読売犬山ハーフマラソン）の開催・協力<br/>・いぬやまスポーツコミッションの事務局運営<br/>・各種スポーツ関係組織への運営支援（補助金・負担金の交付）<br/>・スポーツの普及・振興のため、スポーツ振興基金の積立</p> <p>●主な事業費内訳<br/>・中学校部活動指導者謝礼 7,946千円<br/>・読売犬山ハーフマラソン負担金 2,200千円<br/>・いぬやまスポーツコミッションホームページ作成委託 950千円<br/>・いぬやまスポーツコミッション負担金 320千円</p> |
| 事業の成果・効果 | 中学生部活動への外部指導員の派遣、学校体育施設の市民開放を実施したほか、読売犬山ハーフマラソン、いぬやまランニングフェスティバル、年3回のニュースポーツ大会などの開催のほか、いぬやまスポーツコミッションの活動も展開し、多くの市民がスポーツに触れる（参加する、観戦する、技術力を向上させる、関心をもつなど）機会を、年間を通じて提供した。36回にわたる犬山シテイマラソンの終了を受けて、新規事業として「楽しさ」や「気軽さ」をポイントとした「いぬやまランニングフェスティバル」では、予想を超える参加申込（予想2,000名→実績2,084名）があった上、引き続き多くのボランティアの参加協力を得ることができ大会を運営した。   |

II：個別事業内訳

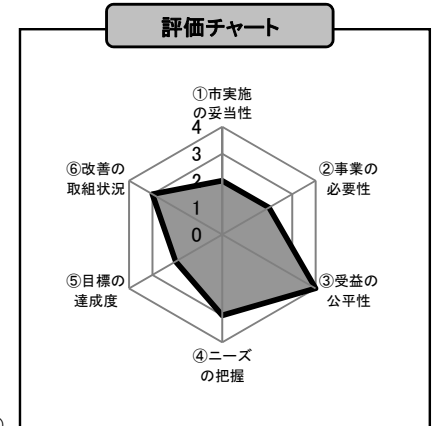
(単位：千円)

(総点検進捗評価は4段階)

| 事業名         | 決算額    | 財源内訳  |        | 一般財源の割合 | 総点検進捗評価 |       |      |
|-------------|--------|-------|--------|---------|---------|-------|------|
|             |        | 特定財源  | 一般財源   |         | 情報発信    | 利便性向上 | 他市比較 |
| スポーツ振興      | 13,760 | 392   | 13,368 | 97%     | 4       | 4     | 4    |
| スポーツ大会      | 5,964  | 680   | 5,284  | 89%     | 4       | 2     | 4    |
| マラソン大会      | 5,051  | 1,700 | 3,351  | 66%     | 4       | 4     | 3    |
| スポーツ振興基金積立金 | 3,959  | 2,855 | 1,104  | 28%     | 1       | 1     | 1    |
| -           | -      | -     | -      | -       | -       | -     | -    |
| -           | -      | -     | -      | -       | -       | -     | -    |
| -           | -      | -     | -      | -       | -       | -     | -    |
| 合計          | 28,734 | 5,627 | 23,107 | 80%     | 3       | 2     | 3    |

III：年度別事業費の状況 (単位：千円)

| 事業費     | H29決算 | H30決算  | R1予算   |        |
|---------|-------|--------|--------|--------|
|         |       | 31,729 | 28,734 | 32,744 |
| 財源内訳    | 国庫支出金 | 0      | 0      | 0      |
|         | 地方債   | 0      | 0      | 0      |
|         | その他   | 6,042  | 5,627  | 22,362 |
|         | 一般財源  | 25,687 | 23,107 | 10,382 |
| 一般財源の割合 | 81%   | 80%    | 32%    |        |



IV：事業の評価 (4段階評価、PDCAサイクルのCheck)

| 評価の観点    | 評価 | 評価根拠   |
|----------|----|--|
| ①市実施の妥当性 | 2  | 他自身体では、マラソン大会、各種スポーツ大会や事業など、民間が主体となって開催されている例は多い。  |
| ②事業の必要性  | 2  | 豊かな市民生活を送る上では有効な施策であるが、日常生活よりも優先すべき分野ではない。   |
| ③受益の公平性  | 4  | いずれの事業も全ての市民である。   |
| ④ニーズの把握  | 3  | 参加者アンケートや参加者であれば投稿できるサイトの活用を図っている事業もある。  |
| ⑤目標の達成度  | 2  | 予定の全事業が完了した。いぬやまランニングフェスティバル参加者数は予想を上回った一方、いぬやまスポーツコミッションの会員数（予定：40名→実績：18名）は予定を大きく下回った。 |
| ⑥改善の取組状況 | 3  | 各事業への市民の参加申込方法（様式含む）の点検、見直しを実施中である。スポーツ振興基金の活用の検討が必要である。                                 |

V：業務の総点検 (PDCAサイクルのC-A)

|                    |  |
|--------------------|--|
| 平成30年度に見直しを実施した事項  | 犬山シテイマラソンから実施部門・参加料を変更し、SNSを活用した地域の魅力発信の企画も取り入れた「いぬやまランニングフェスティバル」を市単独主催で開催した。いぬやまスポーツコミッションでは、各種の制度設計や実施を行ったほか、情報発信ツールとして専用ホームページを設置した。 |
| 令和元年度に見直しを実施している事項 | 軽スポーツ大会（委託業務・受注者：市スポーツ推進委員連絡協議会）として、他自治体の同種団体の活動と比較しても新規性のある、地域の人や団体と連携・交流を基にした新たな事業を実施予定。   |
| 今後見直しを検討する事項       | 開始から経過年数の浅い事業（「いぬやまスポーツコミッション」・「いぬやまランニングフェスティバル」）について、数年にわたる実施効果の検証を行った上で、実施体制や方法など、必要に応じて将来に向けた具体方針の再考も必要となる。                          |

VI：課題とその対応策及び今後の方向性 (平成30年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

| 課題  | 対応策・今後の方向性   |
|---|--|
| 今後国内で開催される大規模スポーツ事業（オリンピック・パラリンピック・アジア競技大会等）への取組み方針を明確にする必要がある。 | 行政のほか、スポーツコミッションや体育協会など外部関係団体や市民がどのように各種事業に関係するかも含め、検討を実施する。 |

平成30年度決算説明書 / 事業評価シート

| 予算 |   |   | 目名    | 決算書(P) |
|----|---|---|-------|--------|
| 款  | 項 | 目 |       |        |
| 9  | 6 | 3 | 体育施設費 | 380    |

|     |         |
|-----|---------|
| 部局名 | 教育部     |
| 課名  | 文化スポーツ課 |

I：事業概要

|          |   |
|----------|---|
| 施策事業名    | 屋内体育施設  |
| 事業目的     | 屋内体育施設を有効に活用することにより、市民スポーツ活動の振興を図る。   |
| 事業内容     | <ul style="list-style-type: none"> <li>●全体計画<br/>公共スポーツ施設として武道館、弓道場、体育センター、フィットネスフロイデをスポーツ活動・生きがいづくり・健康づくりの場として提供する。</li> <li>●主な事業内容<br/>・施設の維持管理<br/>・施設利用者の利用手続及び指導<br/>・施設の営繕工事</li> <li>●主な事業費内訳<br/>・屋内体育施設管理料 5,156千円<br/>・フィットネスフロイデ管理業務委託料 48,600千円<br/>・フィットネスフロイデトレーニングマシン借上料 3,615千円<br/>・武道館剣道場床面改修工事 1,296千円</li> </ul> |
| 事業の成果・効果 | スポーツ活動、健康づくり、生きがいづくりの場として、使用上、安全かつより快適な施設環境を維持しつつ市内体育施設を市民をはじめとする利用者に提供した。  |

II：個別事業内訳

(単位：千円)

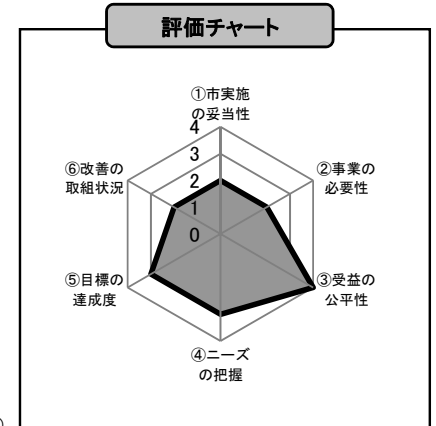
(総点検進捗評価は4段階)

| 事業名          | 決算額    | 財源内訳   |       | 一般財源の割合 | 総点検進捗評価 |       |      |
|--------------|--------|--------|-------|---------|---------|-------|------|
|              |        | 特定財源   | 一般財源  |         | 情報発信    | 利便性向上 | 他市比較 |
| 屋内体育施設管理     | 8,687  | 6,251  | 2,436 | 28%     | 4       | 4     | 1    |
| フィットネスフロイデ管理 | 60,504 | 60,504 | 0     | 0%      | 4       | 2     | 2    |
| フィットネスフロイデ営繕 | 0      | 0      | 0     | -       | 0       | 0     | 0    |
| -            | -      | -      | -     | -       | -       | -     | -    |
| -            | -      | -      | -     | -       | -       | -     | -    |
| -            | -      | -      | -     | -       | -       | -     | -    |
| 合計           | 69,191 | 66,755 | 2,436 | 4%      | 4       | 3     | 1    |

III：年度別事業費の状況

(単位：千円)

| 事業費     | H29決算  | H30決算  | R1予算   |
|---------|--------|--------|--------|
|         | 国庫支出金  | 0      | 0      |
| 地方債     | 0      | 0      | 0      |
| その他     | 74,912 | 66,755 | 67,365 |
| 一般財源    | 5,150  | 2,436  | 7,313  |
| 一般財源の割合 | 6%     | 4%     | 10%    |



IV：事業の評価 (4段階評価、PDCAサイクルのCheck)

| 評価の観点    | 評価 | 評価根拠   |
|----------|----|--|
| ①市実施の妥当性 | 2  | 体育施設管理業務を民間で実施する可能性はある。  |
| ②事業の必要性  | 2  | 豊かな市民生活を送る上では有効な施策であるが、日常生活よりも優先すべき分野ではない。                           |
| ③受益の公平性  | 4  | 全市民が対象となる(恩恵を受ける)機会を得ることができる事業である。                                   |
| ④ニーズの把握  | 3  | 施設には管理人を設置し、常時利用者の声を聞く体制を整えている。                                      |
| ⑤目標の達成度  | 3  | 全ての施設で管理運営方法や体制も決定し、安定した施設管理を実現した。一部施設については新規展開や見直しは達成できなかった。        |
| ⑥改善の取組状況 | 2  | 利用者の利便性向上のため、情報発信方法の改善(市ホームページ掲載情報の修正)や施設環境改善に向けた市民要望の実現に向けた工夫を実施した。 |

V：業務の総点検 (PDCAサイクルのC-A)

|                    |   |
|--------------------|---|
| 平成30年度に見直しを実施した事項  | 次年度からの施設利用手続開始時期を統一した。市ホームページの関連ページの見直しを行った。  |
| 令和元年度に見直しを実施している事項 | 各種様式の点検を行い、適宜見直しを実施する。市民の利便性を向上させるため、施設の利用手続開始時期の変更(毎月1日開始、市民以外より1ヶ月前から開始。ただし、変更に支障のない施設のみ。)を行った。 |
| 今後見直しを検討する事項       | 恒久的に施設管理に要する一定の管理費と、施設の老朽化が進む中での維持費を確保する方法を検討する。  |

VI：課題とその対応策及び今後の方向性 (平成30年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

| 課題  | 対応策・今後の方向性  |
|---|---|
| 大規模改修が想定される老朽施設や類似施設の運営・存続に対して方向性を定める必要がある。 | 費用対効果や利用・稼働実績など存続・改修が必須である施設に対しては計画的に実施する。一方、費用面や施設特性から検討の余地がある施設は方針を定めるための検証に着手する。 |

平成30年度決算説明書 / 事業評価シート

| 予算 |   |   | 目名    | 決算書(P) |
|----|---|---|-------|--------|
| 款  | 項 | 目 |       |        |
| 9  | 6 | 3 | 体育施設費 | 376    |

| 部局名 | 教育部     |
|-----|---------|
| 課名  | 文化スポーツ課 |

I：事業概要

|          |   |
|----------|---|
| 施策事業名    | 屋外体育施設  |
| 事業目的     | 屋外体育施設を有効に活用することにより、市民スポーツ活動の振興を図る。   |
| 事業内容     | <p>●全体計画<br/>公共スポーツ施設として木曾川犬山緑地（野球場・テニスコート・多目的グラウンド）、山の田公園（野球場・テニスコート）、野外活動センター、内田多目的広場テニスコートをスポーツ活動・生きがいつくり・健康づくりの場として提供する。</p> <p>●主な事業内容<br/>・施設の維持管理<br/>・施設利用者の利用手続及び指導<br/>・施設の営繕工事</p> <p>●主な事業費内訳<br/>・木曾川犬山緑地維持管理業務委託 11,880千円<br/>・屋外体育施設管理委託 14,684千円<br/>・山の田公園維持管理委託 4,104千円<br/>・栗栖芝生広場等維持管理委託 1,684千円<br/>・木曾川犬山緑地グラウンド改修工事 11,139千円</p> |
| 事業の成果・効果 | スポーツ活動、健康づくり、生きがいつくりの場として、使用上、安全かつより快適な施設環境を維持しつつ市内体育施設を市民をはじめとする利用者に提供した。  |

II：個別事業内訳

(単位：千円)

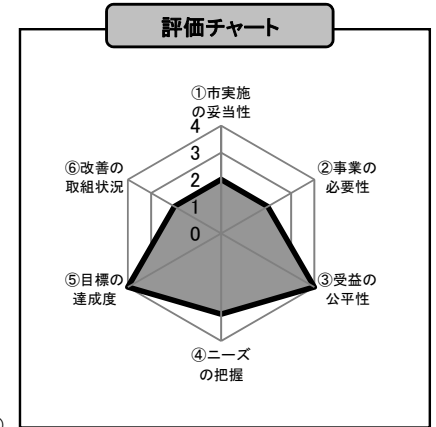
(総点検進捗評価は4段階)

| 事業名        | 決算額    | 財源内訳  |        | 一般財源の割合 | 総点検進捗評価 |       |      |
|------------|--------|-------|--------|---------|---------|-------|------|
|            |        | 特定財源  | 一般財源   |         | 情報発信    | 利便性向上 | 他市比較 |
| 屋外体育施設管理運営 | 43,988 | 6,373 | 37,615 | 86%     | 4       | 4     | 4    |
| 体育施設営繕     | 17,317 | 0     | 17,317 | 100%    | 2       | 2     | 2    |
| 内田テニス場管理   | 49     | 0     | 49     | 100%    | 2       | 2     | 2    |
| -          | -      | -     | -      | -       | -       | -     | -    |
| -          | -      | -     | -      | -       | -       | -     | -    |
| -          | -      | -     | -      | -       | -       | -     | -    |
| -          | -      | -     | -      | -       | -       | -     | -    |
| 合計         | 61,354 | 6,373 | 54,981 | 90%     | 2       | 2     | 2    |

III：年度別事業費の状況

(単位：千円)

| 事業費     | H29決算 | H30決算  | R1予算   |        |
|---------|-------|--------|--------|--------|
|         |       | 39,657 | 61,354 | 49,161 |
| 財源内訳    | 国庫支出金 | 0      | 0      | 0      |
|         | 地方債   | 0      | 0      | 0      |
|         | その他   | 5,998  | 6,373  | 5,963  |
|         | 一般財源  | 33,659 | 54,981 | 43,198 |
| 一般財源の割合 | 85%   | 90%    | 88%    |        |



IV：事業の評価 (4段階評価、PDCAサイクルのCheck)

| 評価の観点    | 評価 | 評価根拠   |
|----------|----|--|
| ①市実施の妥当性 | 2  | 体育施設管理業務を民間で実施する可能性はある。  |
| ②事業の必要性  | 2  | 豊かな市民生活を送る上では有効な施策であるが、日常生活よりも優先すべき分野ではない。                           |
| ③受益の公平性  | 4  | 全市民が対象となる（恩恵を受ける）機会を得ることができる事業である。                                   |
| ④ニーズの把握  | 3  | 施設には管理人を設置し、常時利用者の声を聞く体制を整えている。                                      |
| ⑤目標の達成度  | 4  | 全ての施設で管理運営方法や体制も決定し、安定した施設管理を実現した。一部施設については新規展開や見直しは達成できなかった。        |
| ⑥改善の取組状況 | 2  | 利用者の利便性向上のため、情報発信方法の改善（市ホームページ掲載情報の修正）や施設環境改善に向けた市民要望の実現に向けた工夫を実施した。 |

V：業務の総点検 (PDCAサイクルのC-A)

|                    |  |
|--------------------|--|
| 平成30年度に見直しを実施した事項  | 次年度からの施設利用手続開始時期を統一した。利用者の利便性向上と、混乱を回避するため、新施設（内田多目的広場テニスコート）と、利用者の多くが重複することが見込まれる市内同種施設（木曾川犬山緑地テニスコート）と申請書類の統一を図った。市ホームページの関連ページの見直しを行った。 |
| 令和元年度に見直しを実施している事項 | 各種様式の点検を行い、適宜見直しを実施する。市民の利便性を向上させるため、施設の利用手続開始時期の変更（毎月1日開始、市民以外より1ヶ月前から開始。ただし、変更に支障のない施設のみ。）を行った。  |
| 今後見直しを検討する事項       | 恒久的に施設管理に要する一定の管理費と、施設の老朽化が進む中での維持費を確保する方法を検討する。   |

VI：課題とその対応策及び今後の方向性 (平成30年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

| 課題  | 対応策・今後の方向性   |
|---|--|
| 施設使用料が不要な施設についても「使用料の見直しに関する基本方針」に基づく、応分の受益者負担を定める検討が必要である。 | 既存施設に対して施設使用料を新規設定する時点においては、減免基準や、利用団体が市の補助・助成団体である場合の補助等の金額への影響なども加味して検討していく。 |

平成30年度決算説明書 / 事業評価シート

| 予算 |   |   | 目名    | 決算書(P) |
|----|---|---|-------|--------|
| 款  | 項 | 目 |       |        |
| 9  | 6 | 3 | 体育施設費 | 376    |

|     |         |
|-----|---------|
| 部局名 | 教育部     |
| 課名  | 文化スポーツ課 |

I：事業概要

|          |  |
|----------|--|
| 施策事業名    | 包括体育施設   |
| 事業目的     | 羽黒中央公園（体育館・多目的スポーツ広場ほか）を適正に管理運営し、活用することで、市民のスポーツ活動・健康づくりの推進を図る。  |
| 事業内容     | <ul style="list-style-type: none"> <li>●全体計画                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者による羽黒中央公園（体育館・多目的スポーツ広場）の管理運営が適正に実施されることで、施設の活性化が図られ、市民のスポーツ活動、健康づくりの推進を図る。</li> </ul> </li> <li>●主な事業内容                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・園内全施設の管理運営</li> </ul> </li> <li>●主な事業費内訳                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・羽黒中央公園指定管理料 109,136千円</li> </ul> </li> </ul> |
| 事業の成果・効果 | 指定管理者の管理運営により、スポーツ活動、健康づくり、生きがいづくりの場として施設を利用者に提供するとともに、幅広い年代の市民がスポーツに親しむ機会が得られるよう、卓球教室やトランポリン教室等魅力的な自主事業を各種展開した。   |

II：個別事業内訳

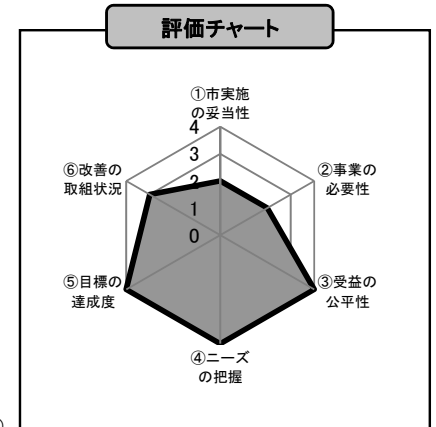
(単位：千円)

(総点検進捗評価は4段階)

| 事業名      | 決算額     | 財源内訳  |         | 一般財源の割合 | 総点検進捗評価 |       |      |
|----------|---------|-------|---------|---------|---------|-------|------|
|          |         | 特定財源  | 一般財源    |         | 情報発信    | 利便性向上 | 他市比較 |
| 包括体育施設管理 | 109,256 | 5,081 | 104,175 | 95%     | 4       | 2     | 4    |
| -        | -       | -     | -       | -       | -       | -     | -    |
| -        | -       | -     | -       | -       | -       | -     | -    |
| -        | -       | -     | -       | -       | -       | -     | -    |
| -        | -       | -     | -       | -       | -       | -     | -    |
| -        | -       | -     | -       | -       | -       | -     | -    |
| 合計       | 109,256 | 5,081 | 104,175 | 95%     | 4       | 2     | 4    |

III：年度別事業費の状況 (単位：千円)

| 事業費     | H29決算   | H30決算   | R1予算    |
|---------|---------|---------|---------|
|         | 国県支出金   | 0       | 0       |
| 地方債     | 0       | 0       | 0       |
| その他     | 5,165   | 5,081   | 3,782   |
| 一般財源    | 105,531 | 104,175 | 106,542 |
| 一般財源の割合 | 95%     | 95%     | 97%     |



IV：事業の評価 (4段階評価、PDCAサイクルのCheck)

| 評価の観点    | 評価 | 評価根拠   |
|----------|----|--|
| ①市実施の妥当性 | 2  | 体育施設管理業務を民間で実施する可能性はある。  |
| ②事業の必要性  | 2  | 豊かな市民生活を送る上では有効な施策であるが、日常生活よりも優先すべき分野ではない。                           |
| ③受益の公平性  | 4  | 全市民が対象となる（恩恵を受ける）機会を得ることができる事業である。                                   |
| ④ニーズの把握  | 4  | 指定管理者制度を導入し、常時利用者の声を聞く体制を整えている。                                      |
| ⑤目標の達成度  | 4  | 安定した施設管理を実現した。   |
| ⑥改善の取組状況 | 3  | 利用者の利便性向上のため、情報発信方法の改善（市ホームページ掲載情報の修正）や施設環境改善に向けた市民要望の実現に向けた工夫を実施した。 |

V：業務の総点検 (PDCAサイクルのC-A)

|                    |  |
|--------------------|--|
| 平成30年度に見直しを実施した事項  | 指定管理施設の光熱水費の基準額を見直し、指定管理料の減額を行った。アリーナの床の不具合箇所を指摘し、建設業者の費用負担において補修工事を実施した。  |
| 令和元年度に見直しを実施している事項 | 施設の利便性を向上させるため、利用手続き開始時期の変更（市民3月前、市民以外2月前から開始）を行う。市民ニーズに合わせた魅力的な自主事業を展開する。 |
| 今後見直しを検討する事項       | 恒久的に施設管理に要する一定の管理費と、今後施設の老朽化が進む中での維持費を確保する方法を検討する。                         |

VI：課題とその対応策及び今後の方向性 (平成30年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

| 課題                             | 対応策・今後の方向性   |
|--------------------------------|--|
| 指定管理期間終了後の管理運営方法について検討する必要がある。 | モニタリングを実施し、現状の運営体制の検証を行うとともに、令和3年度からの施設の管理運営方法について方針を確定していく。 |